学校だより
高松小学校
2月

たかひば

～ひばりのように高く舞い上がれ～

令和７年１月29日

もともと特別なオンリー・ワン

校長　山﨑　勝則

１月の今月の歌は「世界に１つだけの花」です。毎朝、朝の会で全校児童が歌う声が校舎に響き渡っています。そして、いつの間にか口ずさんでいる自分がいます。

今年度から始めた「たかひばカード」が、３学期の目標としていた通算１０００枚を、２月になる前に突破してしまいました。今年度の終わりには果たして何枚まで到達するのやら･･･楽しみです。「たかひばカード」は１０個のがんばりで、校長から簡単な賞状がもらえ、鋼→銅→銀→金･･･と次のカードにグレードアップします。

先日、低学年の児童にカードを渡しに行った時のことです。銀のカードを渡すと、隣の子が「まだ銀なん？俺、もう〇〇やけど。」と言ってきました。私は即座に「そんな言い方はしないよ。」と言いました。そして、銀のカードの子に「自分なりのがんばりで充分、また次のカードを目指してね。」と話すと、にっこり微笑んでうなずきました。

また、高学年の児童にカードを渡すと隣の子が言いました「俺、まだ鋼も終わっとらん･･･。」その子には「そんなこと気にするな、カードのランクなんかよりがんばり続けることにこそ、一番価値があるから･･･。」と言いました。するとまた隣の子が「校長先生、かっこいいこと言うなー。」と。

そんな子ども達の言葉を聞いていると**「♪それなのに僕ら人間は　どうしてこうも比べたがる」**の理由は、人間が持っている本能なのかもしれないし、向上するための大きな原動力になっているのは確かだと思います。

だけど私は、カッコつけるわけではありませんが高松っ子のみんなには**「♪ナンバー・ワンにならなくてもいい　もともと特別なオンリー・ワン」**になってほしいと思います。

保護者も、地域も、先生も、子ども同士も、ナンバー・ワンじゃなくても、オンリー・ワンを目指す頑張りを応援する人になってほしいと願っています。

高松小のオンリー・ワン

１月29日(水)の朝、突然の積雪にも６年の除雪隊が出動。遅れてきた子も責めることなく明るく出迎え、元気よく雪透かしをしています。終わった後も、指示は全くありませんが当たり前のように用具を整頓して片づけます。

これって当たり前のようで当たり前じゃないんです。まさに高松小のオンリー・ワン！